

平成17年度

道路整備に関するアンケート調査結果について

< 「道路の混雑状況」の満足度が0.17ポイント上昇!! >

平成18年1月に「道路整備の満足度」と「道路整備の優先順位」についてアンケート調査を実施。

平成15年度から毎年一回実施し、今回で3回目。

「道路整備の満足度」は沖縄県全体として低下したものの、「道路の混雑状況」の分野では満足度が0.17ポイント上昇し、不満足度の順位は、前回調査の一位から二位に改善。

特に「案内標識の設置・表示」の満足度が前回調査より上昇(2.95 → 3.01)し、「道路沿道の除草・清掃」が下降(2.73 → 2.43)した。

「道路整備の優先順位」については、沖縄県全体及び那覇都市圏、中南部生活圏とも第一位であり何れも5割を超えていることから、更なる渋滞対策を図っていく必要がある。

平成18年6月21日

担当：開発建設部

道路建設課長

道路計画調整官

電話

たなか

田中

喜舎場

098-866-0091

まもる

衛

まさひで

正秀

. アンケートの趣旨

今日の道路に求められるサービスは多様化し、道路利用者のニーズを的確に反映する取組が必要となっており、平成15年度より道路を利用されている県民の皆様から、広く意見を聞くことを目的に「沖縄県の道路整備に関するアンケート」を実施してきました。

このアンケートにより、頂いた貴重なご意見は、これからの道路整備に反映し、県民の皆様が満足し、喜ばれる道路行政を目指してまいりたいと考えています。

. 調査結果の概要

1. 沖縄県全体

(1) 道路整備の満足度

- ・ 道路整備に関する22分野を設定し、各分野の満足度を5段階評価する設問を設けた。なお、この設問については、2年前(平成16年2月)より毎年同様の調査を行っている。
- ・ 不満の高い分野は、第一位「路上工事の実施状況」、第二位「道路の混雑状況」であり、これは前回調査と一位と二位が入れ替わった。
- ・ 満足度を数値化して比較すると、22分野の中の12分野で満足度が低下しており、全体的に満足度の低下が見られた。特に満足度が低下したのは「沿道の除草・清掃」についてで、低下幅は 0.30(2.73 2.43)となり、前回調査では22分野中で十位だったのに対し、今回調査では22分野中で三位と大きく低下した。
- ・ ただし、前回調査で不満足度の第一位であった「道路の混雑状況」については、前回調査が2.16に対し、今回調査では2.33で第二位になり、満足度が0.17上昇した。

(2) 道路整備の優先順位

- ・ 道路整備に関する22分野の中から、優先順位を3つ選択する設問を設けた。なお、この設問についても、2年前(平成16年2月)より同様の調査を行っている。
- ・ 優先順位の高い分野は、第一位「渋滞対策」、第二位「電線等の地中化」であり、これは前回調査と同様である。全般的に順位については、若干の変動があるが、概ね前回調査と同傾向にある。
- ・ 優先順位の指摘率の数値が大きく上昇したもの(前回調査 今回調査)
 - 「電線・電柱の地中化」 +6.3% (31.0 37.3)
 - 「狭い道路の改良」 +2.7% (24.6 27.3)
 - 「生活道路の整備」 +6.4% (17.3 23.7)
 - 「幹線道路の整備」 +2.6% (7.9 10.5)

- ・ 優先順位の指摘率の数值が大きく下降したもの(前回調査 今回調査)
 - 「渋滞の対策」 2.5% (55.0 52.5)
 - 「歩道の段差解消等」 5.0% (18.8 13.8)
 - 「路面の凹凸等の改良」 4.5% (18.0 13.5)
 - 「路上工事の抑制」 3.1% (10.9 7.8)

以上より、これまでの渋滞対策の取組を推進してきた結果、1年前と比較して満足度が上昇したと思われるが、取組推進を求める声は以前と5割を越えて第1位であることから、更なる渋滞対策の推進を図っていく必要があると考える。

2. 那覇都市圏

(1) 道路整備の満足度

- ・ 不満の高い分野は、第一位「道路の混雑状況(前回:1.99 今回:2.06)」、第二位「路上工事の実施状況(前回:2.15 今回:2.19)」、第三位「歩道の設置状況(前回:2.36 今回:2.37)」である。

(2) 道路整備の優先順位

- ・ 優先順位の高い分野は、第一位「渋滞対策(前回:58.3 今回:62.0)」、第二位「電線等の地中化(前回:31.1 今回:38.3)」、第三位「狭い道路の改良等(前回:24.8 今回:26.5)」である。

以上より、那覇都市圏は渋滞に対する不満足度、優先順位がともに一位であることから、更なる渋滞対策の推進を図っていく必要があると考える。また、電線等の地中化の優先度が前回より+7.2%も上昇していることから、都市圏の電線等の地中化が求められていることがわかる。

3. 中南部生活圏

(1) 道路整備の満足度

- ・ 不満の高い分野は、第一位「路上工事の実施状況(前回:2.32 今回:2.28)」、第二位「道路の混雑状況(前回:2.16 今回:2.33)」、第三位「沿道の除草・清掃(前回:2.75 今回:2.37)」である。

(2) 道路整備の優先順位

- ・ 優先順位の高い分野は、第一位「渋滞対策(前回:58.0 今回:53.4)」、第二位「電線等の地中化(前回:30.6 今回:35.0)」、第三位「狭い道路の改良等(前回:24.5 今回:27.0)」である。

以上より、中南部生活圏も那覇都市圏と同様に、渋滞に対する不満足度、優先順位が高いことから、更なる渋滞対策の推進を図っていく必要があると考える。

4. 北部生活圏

(1) 道路整備の満足度

- ・ 不満の高い分野は、第一位「路上工事の実施状況(前回:2.51 今回:2.48)」、第二位「路面の凹凸(前回:2.61 今回:2.65)」、第三位「歩道の設置状況(前回:2.69 今回:2.68)」である。

(2) 道路整備の優先順位

- ・ 優先順位の高い分野は、第一位「渋滞対策(前回:44.5 今回:37.3)」、第二位「電線等の地中化(前回:30.0 今回:35.3)」、第三位「狭い道路の改良等(前回:25.0 今回:24.4)」、第四位「生活道路の整備(前回:15.5 今回:23.1)」である。

北部生活圏は、生活道路の整備に対する優先度が前回より+7.6%も上昇していることから、生活道路の整備が求められていることがわかる。

5. 宮古生活圏

(1) 道路整備の満足度

- ・ 不満の高い分野は、第一位「沿道の除草・清掃(前回:2.18 今回:2.07)」、第二位「排水性舗装の整備(前回:2.58 今回:2.41)」、第三位「路上工事の実施状況(前回:2.63 今回:2.51)」である。

(2) 道路整備の優先順位

- ・ 優先順位の高い分野は、第一位「電線等の地中化(前回:40.0 今回:46.4)」、第二位「狭い道路の改良等(前回:20.0 今回:38.4)」、第三位「生活道路の整備(前回:10.0 今回:32.8)」である。

宮古生活圏は、狭い道路の改良等に対する優先度が前回より+18.4%も上昇し、生活道路の整備に対する優先度も前回より+12.8%も上昇していることから、生活道路の整備が求められていることがわかる。

6. 八重山生活圏

(1) 道路整備の満足度

- ・ 不満の高い分野は、第一位「路面の凹凸(前回:2.33 今回:2.16)」、第二位「歩道の設置状況(前回:2.49 今回:2.28)」、第三位「沿道の除草・清掃(前回:2.15 今回:2.28)」である。

(2) 道路整備の優先順位

- ・ 優先順位の高い分野は、第一位「電線等の地中化(前回:29.6 今回:43.9)」、第二

位「狭い道路の改良等(前回:24.1 今回:34.1)」、第三位「生活道路の整備(前回:25.9 今回:33.5)」である。

八重山生活圏は、電線等の地中化に対する優先度が前回より+14.3%も上昇していることから、電線等の地中化が求められていることがわかる。

道路整備に関するアンケート調査結果

1. 回収状況・属性

1.1 回収率

全県で 21007 票の配布に対し、回収数は 4331 票であり、回収率は 20.6% である。(前回は、折り込みチラシ方式で回収率は 0.46%)

表 1-1 配布回収状況

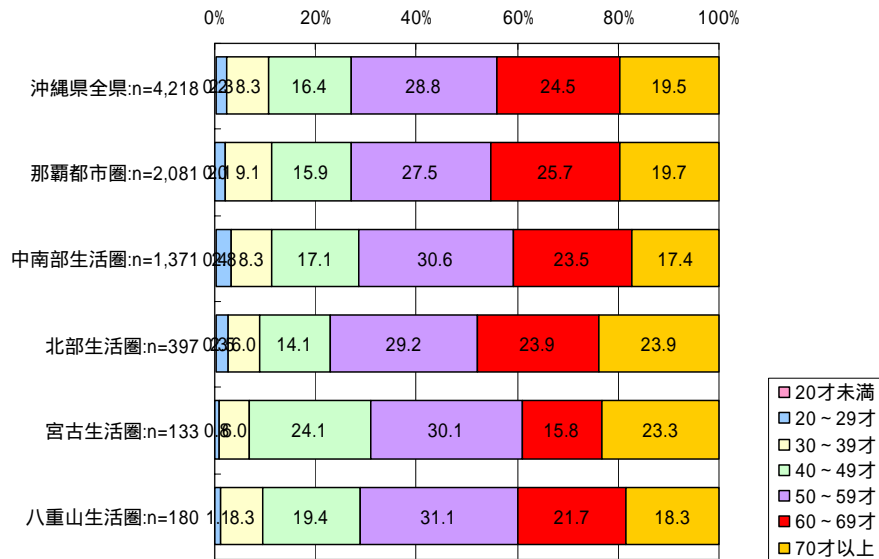
地域区分	市町村名	世帯数 H17.12.1	配布数	回収数	回収率	
那覇都市圏	那覇市	124,958	4,997	1,081	21.6%	
	宜野湾市	35,596	1,423	312	21.9%	
	浦添市	39,079	1,563	344	22.0%	
	豊見城市	17,390	695	146	21.0%	
	西原町	11,548	462	119	25.8%	
	南風原町	10,891	436	92	21.1%	
中南部生活圏	うるま市	37,685	1,507	264	17.5%	
	糸満市	18,249	730	149	20.4%	
	沖縄市	45,164	1,806	362	20.0%	
	読谷村	12,048	482	86	17.9%	
	嘉手納町	4,728	189	44	23.3%	
	北谷町	9,467	379	77	20.3%	
	北中城村	5,354	214	56	26.2%	
	中城村	5,471	219	43	19.7%	
	八重瀬町	(旧)東風平町	5,382	215	67	21.3%
		(旧)具志頭村	2,464	100		
	南城市	(旧)玉城村	3,209	128	99	19.5%
		(旧)知念村	1,692	100		
		(旧)佐敷町	3,549	142		
		(旧)大里村	3,436	137		
	与那原町	5,303	212	53	25.0%	
	久米島町	3,459	138	17	12.3%	
	渡嘉敷村	413	100	11	11.0%	
	座間味村	524	100	15	15.0%	
	粟国村	520	100	8	8.0%	
	渡名喜村	279	100	5	5.0%	
南大東村	730	100	10	10.0%		
北大東村	360	100	12	12.0%		
北部生活圏	名護市	22,996	920	161	17.5%	
	国頭村	2,154	100	21	21.0%	
	大宜味村	1,319	100	13	13.0%	
	東村	790	100	17	17.0%	
	今帰仁村	3,270	131	32	24.5%	
	本部町	5,025	201	40	19.9%	
	恩納村	3,534	141	25	17.7%	
	宜野座村	1,693	100	25	25.0%	
	金武町	3,970	159	31	19.5%	
	伊江村	2,053	100	11	11.0%	
	伊平屋村	602	100	15	15.0%	
	伊是名村	740	100	10	10.0%	
	宮古生活圏	宮古島市	21,257	850	132	15.5%
多良間村		605	100	3	3.0%	
石垣生活圏	石垣市	18,284	731	150	20.5%	
	竹富町	2,146	100	20	20.0%	
	与那国町	755	100	10	10.0%	
不明				143	-	
	合計	500,141	21,007	4,331	20.6%	

1.2 回答者の属性

(1) 年齢層

50歳以上の方の割合が多く、全体の約73%を占めている。

圏域別に見ると、北部生活圏で50歳以上の方の占める割合が高い。

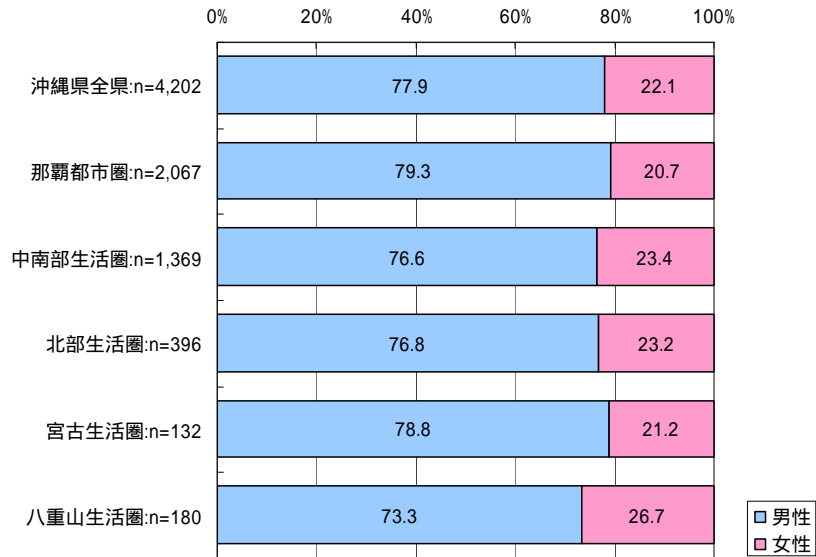


問6-1 年齢

(2) 性別

約 78%が男性となっている。

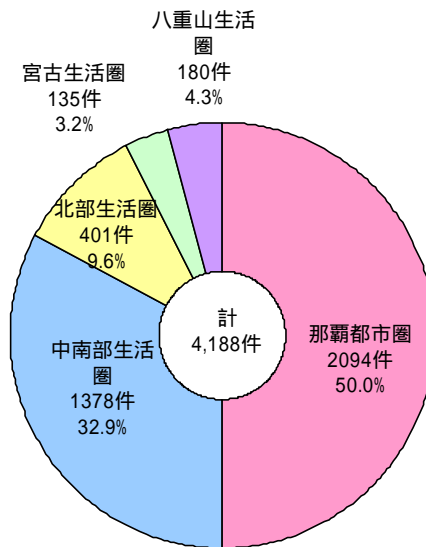
圏域別のちがいはあまり大きくないものの、八重山生活圏では女性の占める割合がやや高い。



問6-1 性別

(3) 地域

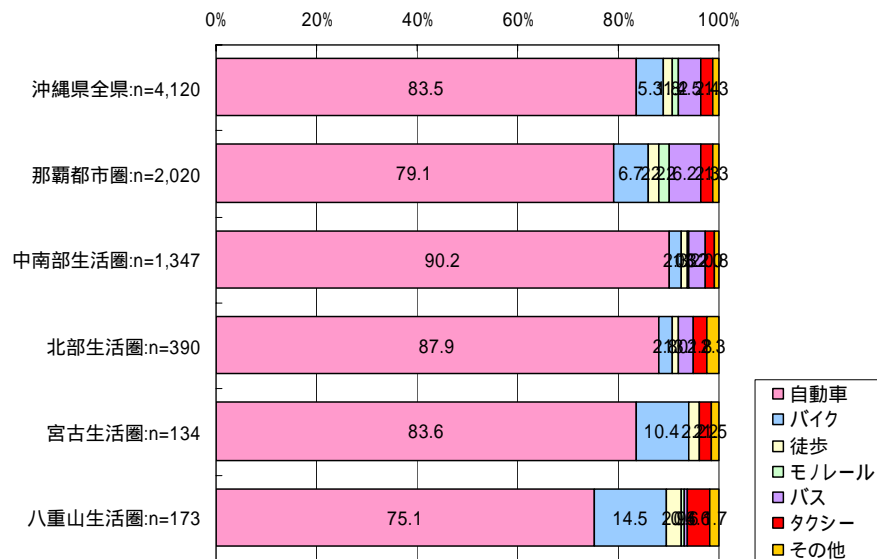
回収された帳票のうち、約半数が那覇都市圏となっている。



問6-2 お住まいの市町村

(4) 利用交通手段

全県では、約 84%が自動車による移動となっている。圏域別では那覇都市圏では、自動車の占める割合が全県と比較してやや低く、バスやモノレールなど公共交通手段の占める割合が高い。



問6-3 道路の主な利用手段(都市圏別)

2. 道路に関わる満足度(問1)

(1) 沖縄県全県

不満の高い項目としては、道路の混雑状況、歩道の設置状況、沿道の除草・清掃、路上工事の実施状況などがあげられる。

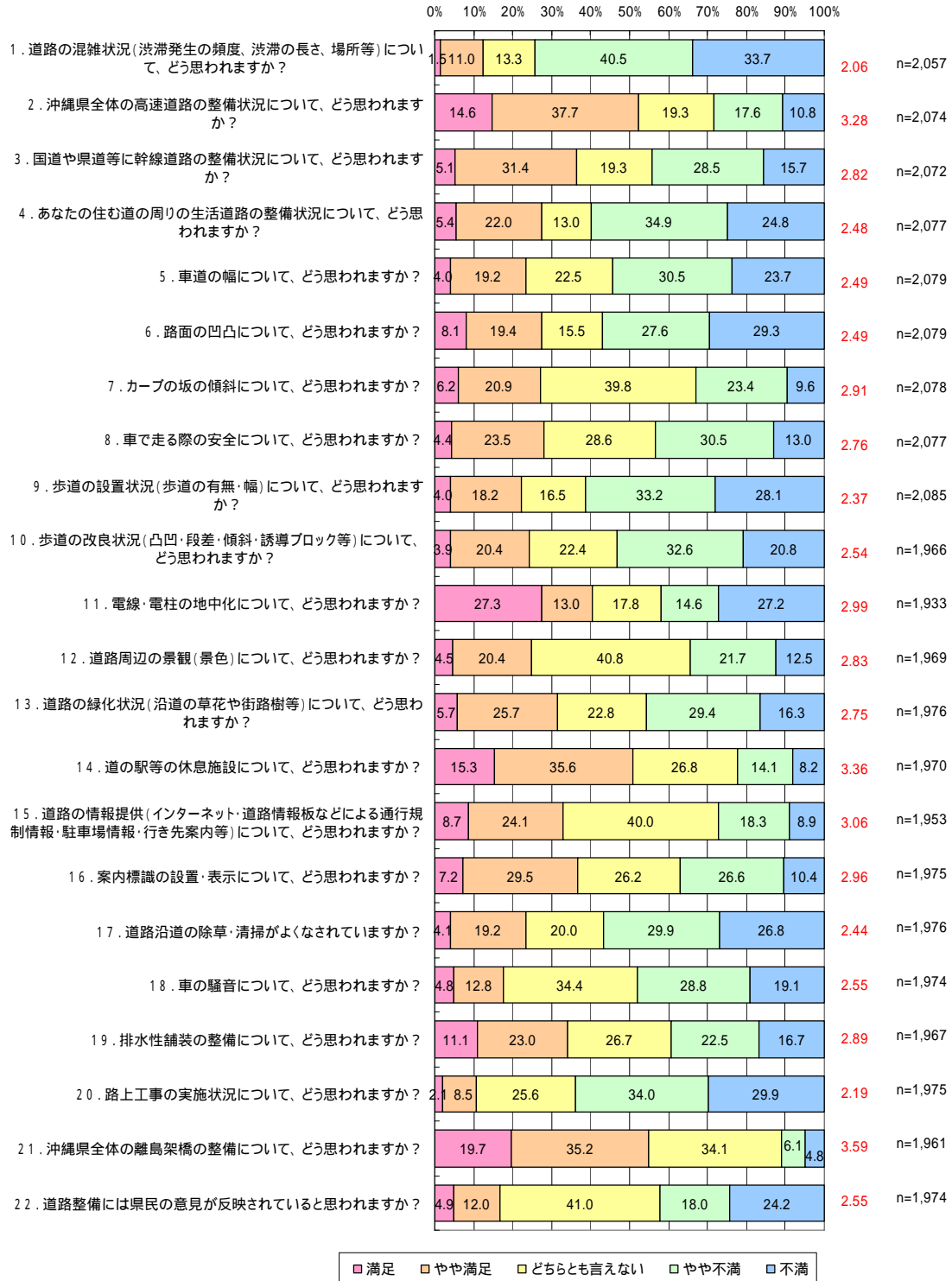


問1 現在の道路に対する満足度(沖縄県全県)

赤字は満足度

(2) 那覇都市圏

道路の混雑状況に関して不満と感じている方の割合が全県と比較して高く、その割合は約74%にもなる。(全県での割合は65%)



問1 現在の道路に対する満足度(那覇都市圏)

赤字は満足度

(3) 中南部生活圏

那覇都市圏と同様、道路の混雑状況に関して不満と感じている方の割合が全県と比較してやや高く、その割合は約 67%にもなる。(全県での割合は 65%)



問1 現在の道路に対する満足度(中南部生活圏)

赤字は満足度

(4) 北部生活圏

道路の混雑状況よりも、路面の凹凸や路上工事の実施状況について不満を抱く方の割合が高い。

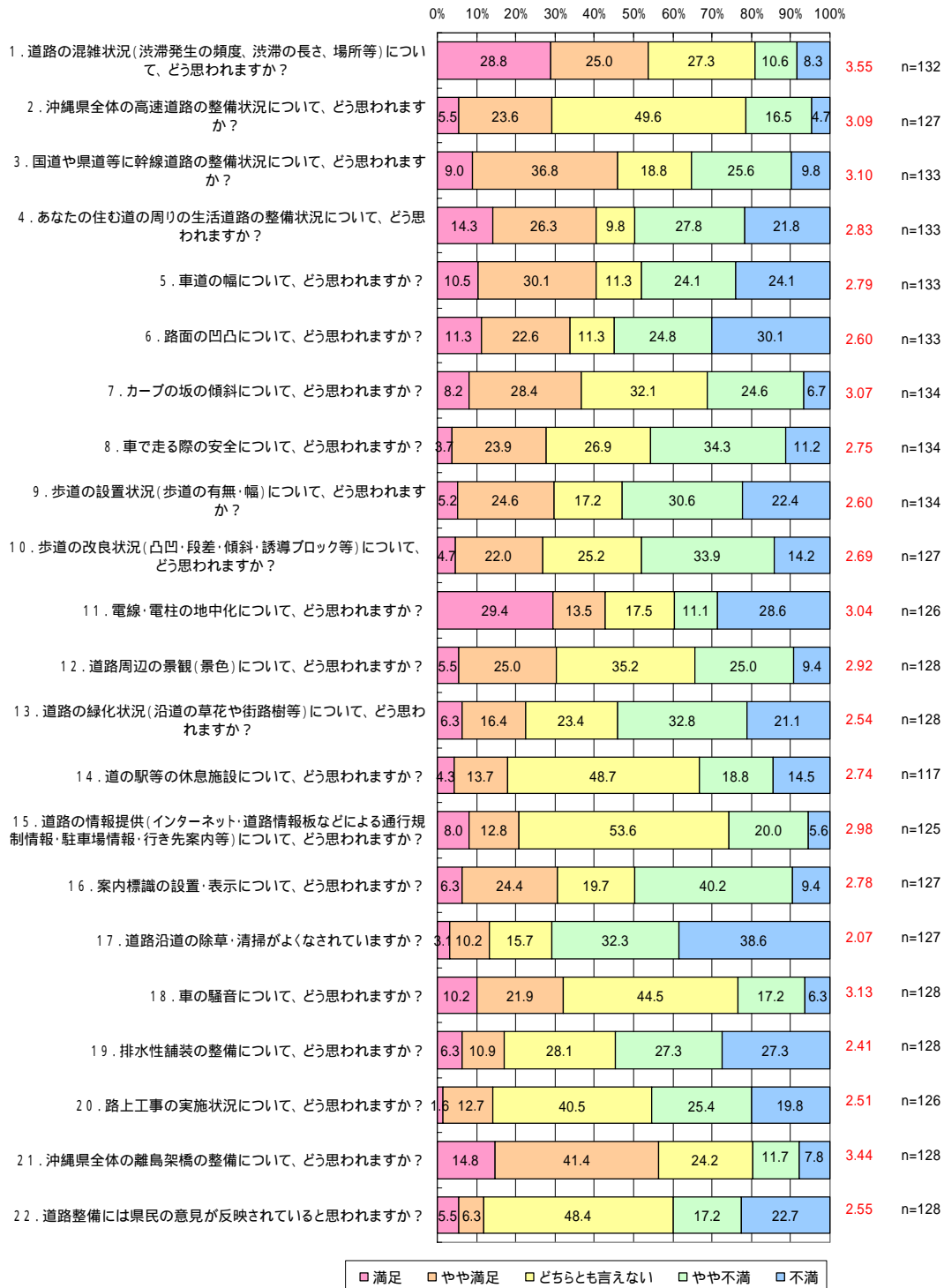


問1 現在の道路に対する満足度(北部生活圏)

赤字は満足度

(5) 宮古生活圏

道路沿道の除草・清掃に対する不満が最も高い。
 そのほか、路面の凹凸、道路の緑化状況などに対する不満が高い。

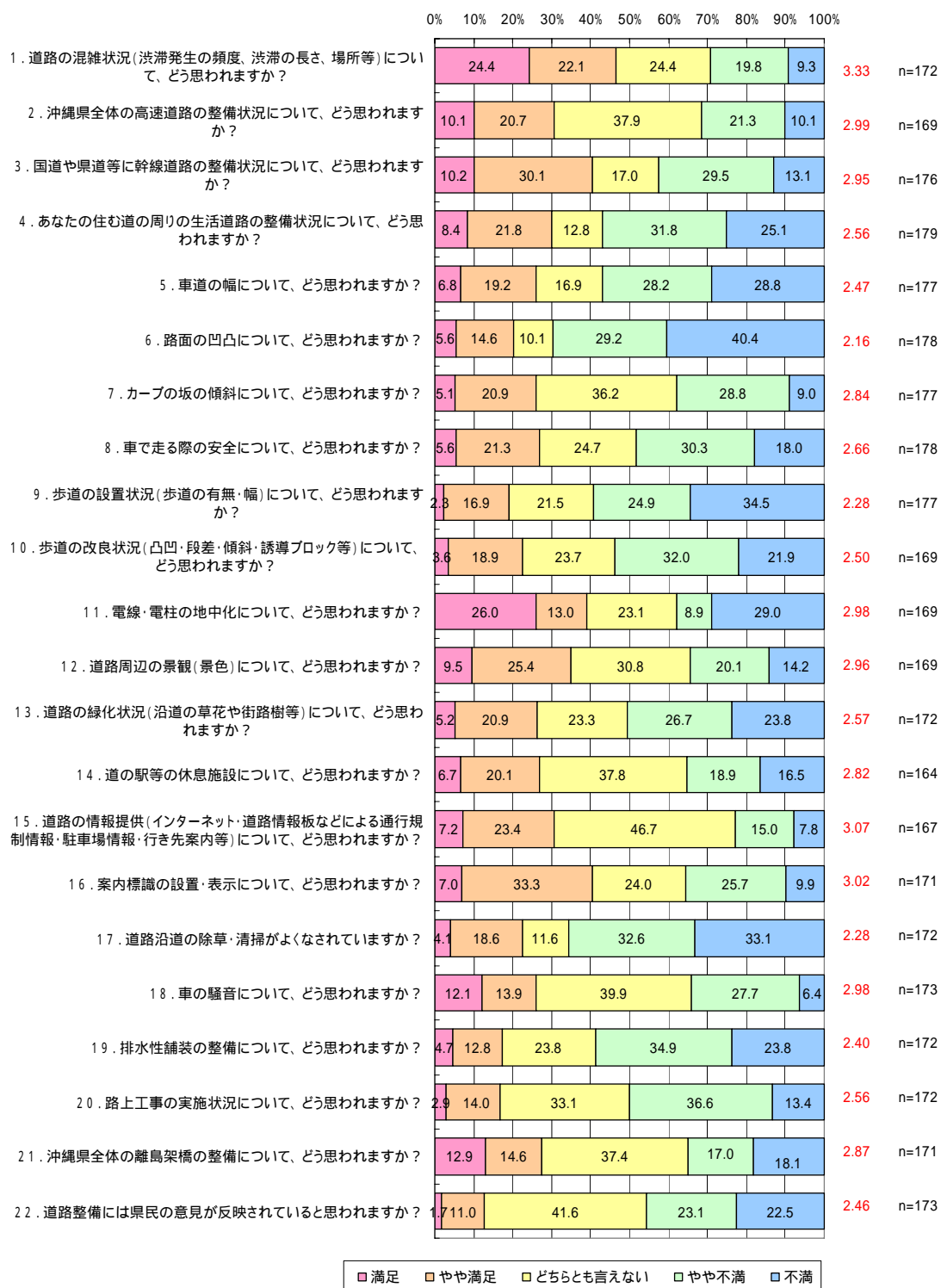


問1 現在の道路に対する満足度(宮古生活圏)

赤字は満足度

(6) 八重山生活圏

路面の凹凸に対する不満が最も高く、次いで、道路沿道の除草・清掃に対する不満が高い。

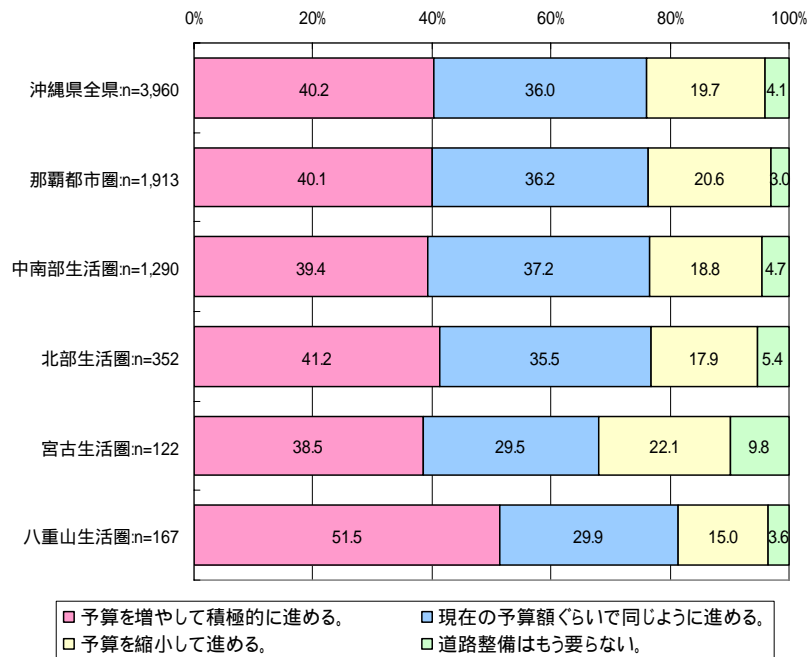


問1 現在の道路に対する満足度(八重山生活圏)

赤字は満足度

3. 本県の道路整備のあり方(問2)

「予算を増やして積極的に進める」、「現在と同等の予算額で進める」をあわせると約76%であり、道路整備を肯定的にとらえている方が多いことが伺える。
 圏域別では、八重山生活圏で積極的に道路整備を進めてほしいとの意見が多い。

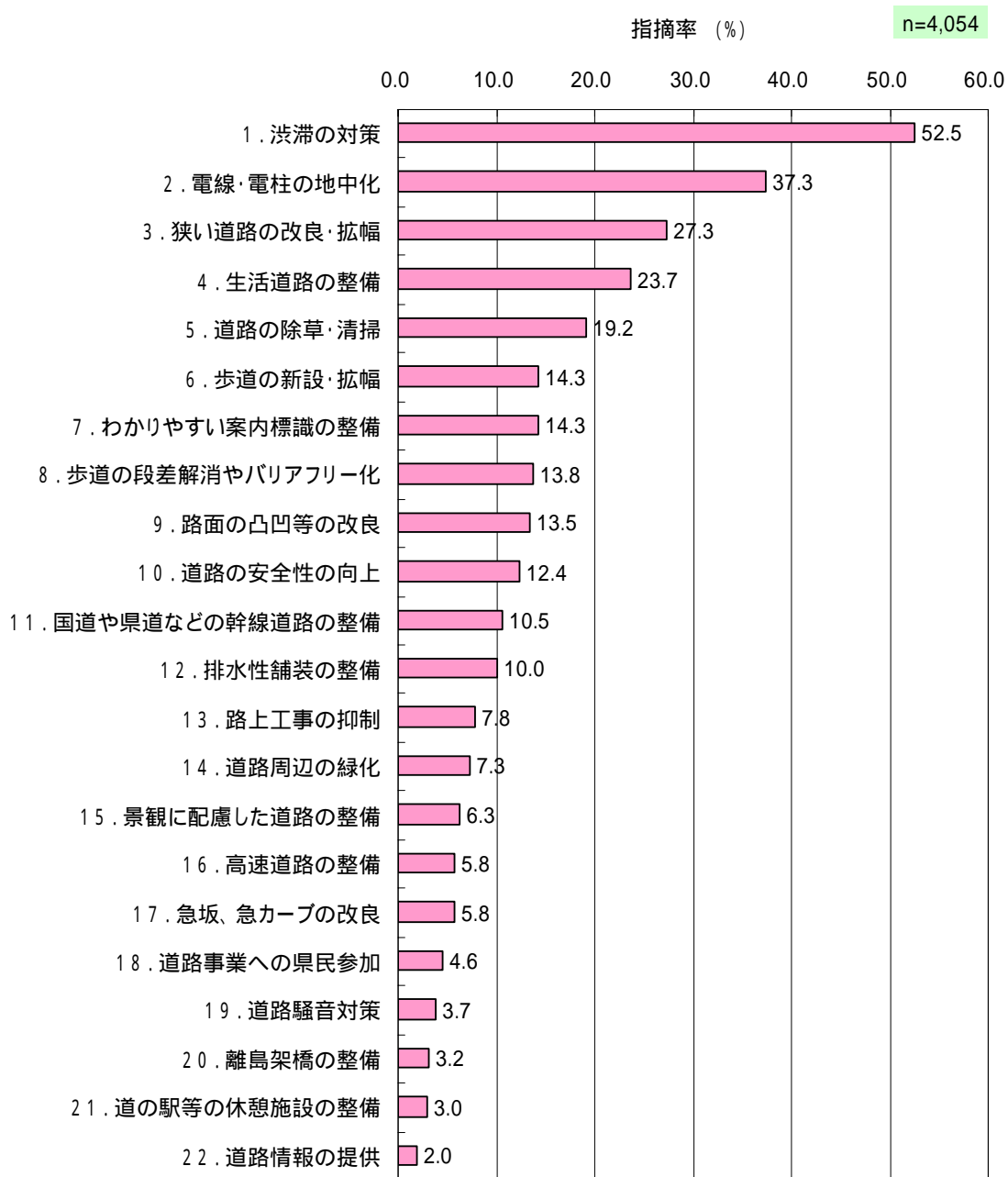


問2 今後の道路整備の進め方

4. 今後優先して実施してほしい施策(問3)

(1) 沖縄県全県

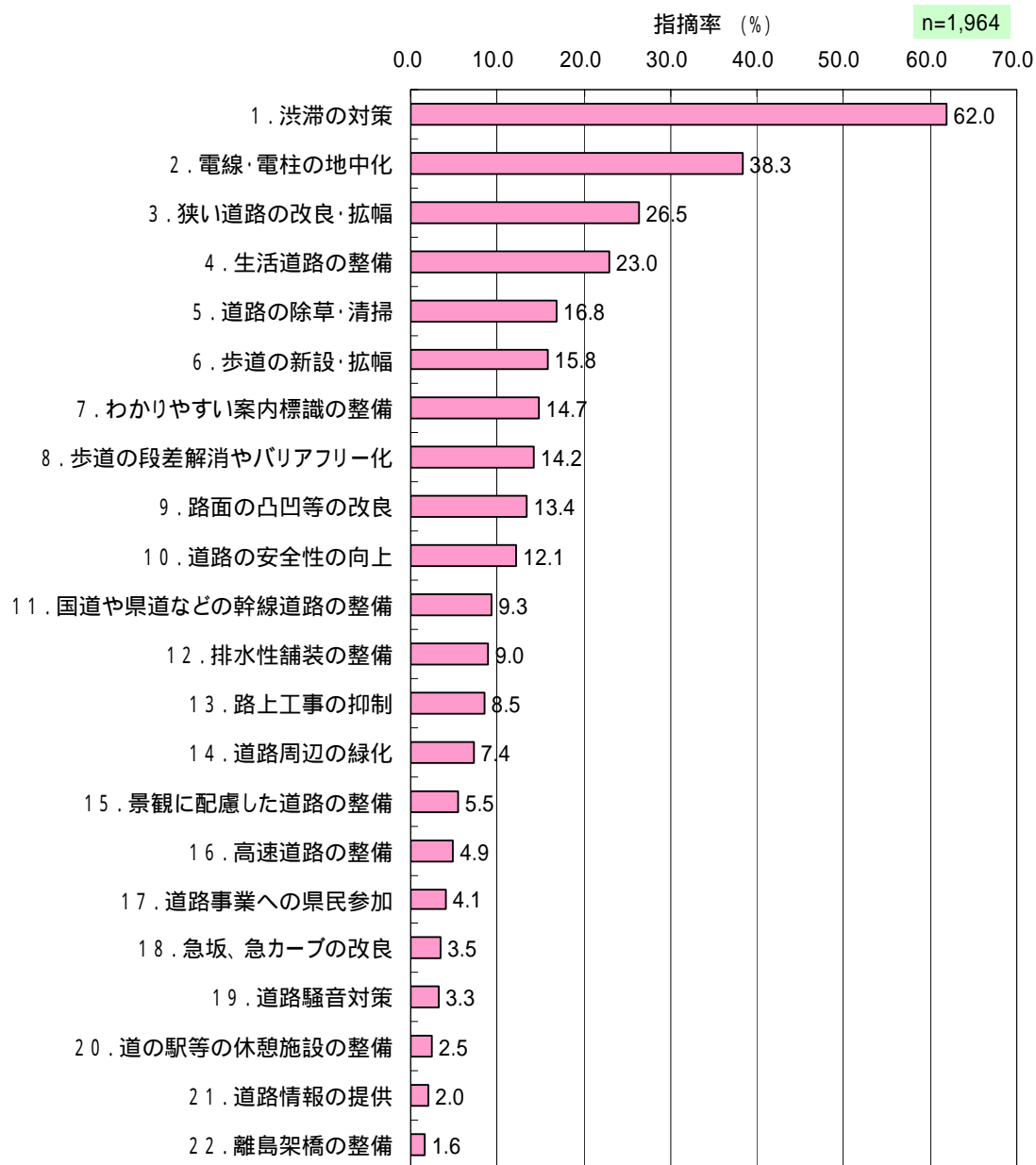
「渋滞の対策」をあげる意見が約半数近くを占め、次いで、「電線・電柱の地中化」
「狭い道路の改良・拡幅」をあげる意見が多い。



問3 今後の道路事業(施策)の優先順位(沖縄県全県)

(2) 那覇都市圏

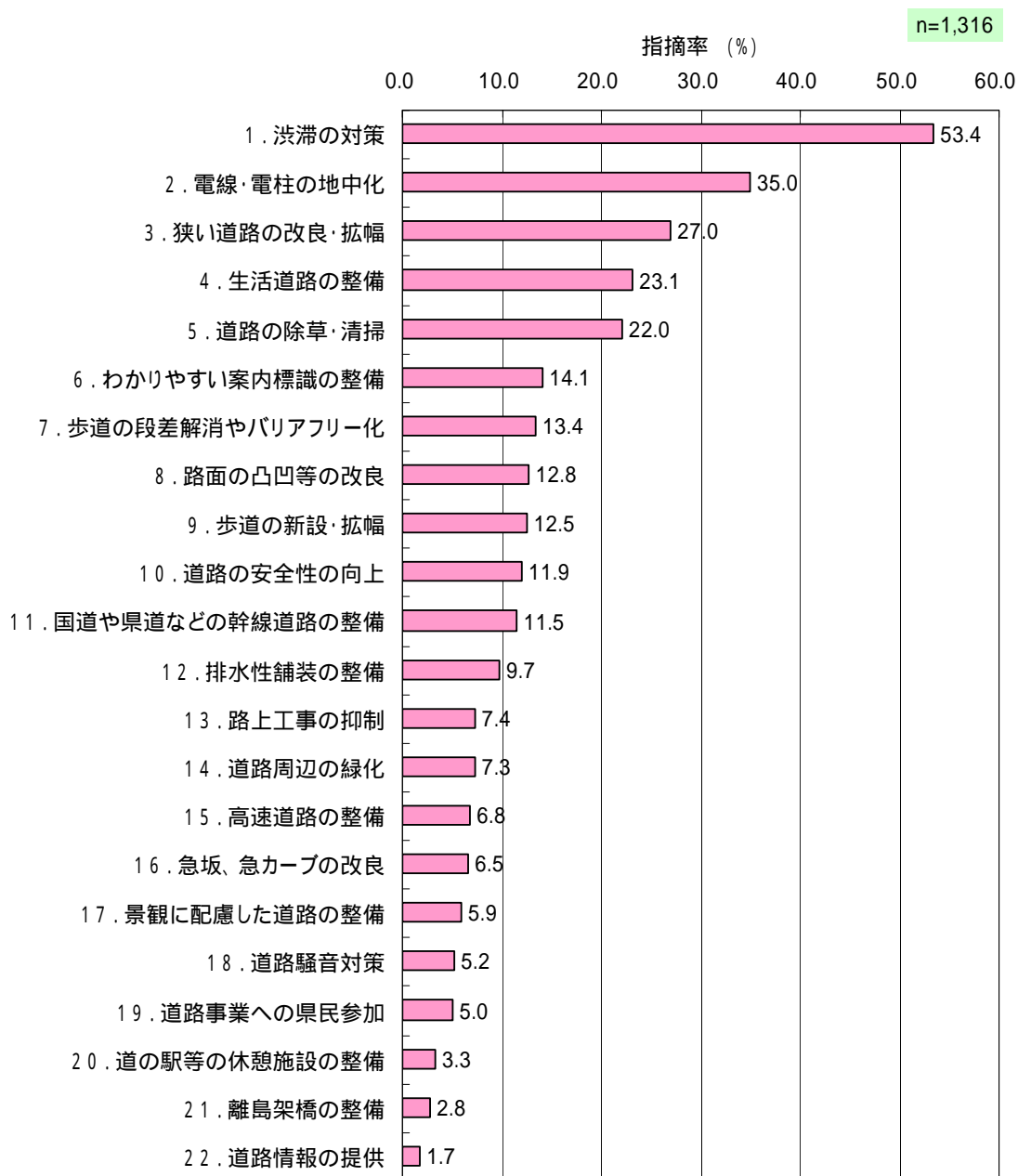
渋滞の対策をあげる意見が約 62%を占め、全県（約 53%）と比較しても非常に高い。



問3 今後の道路事業(施策)の優先順位(那覇都市圏)

(3) 中南部生活圏

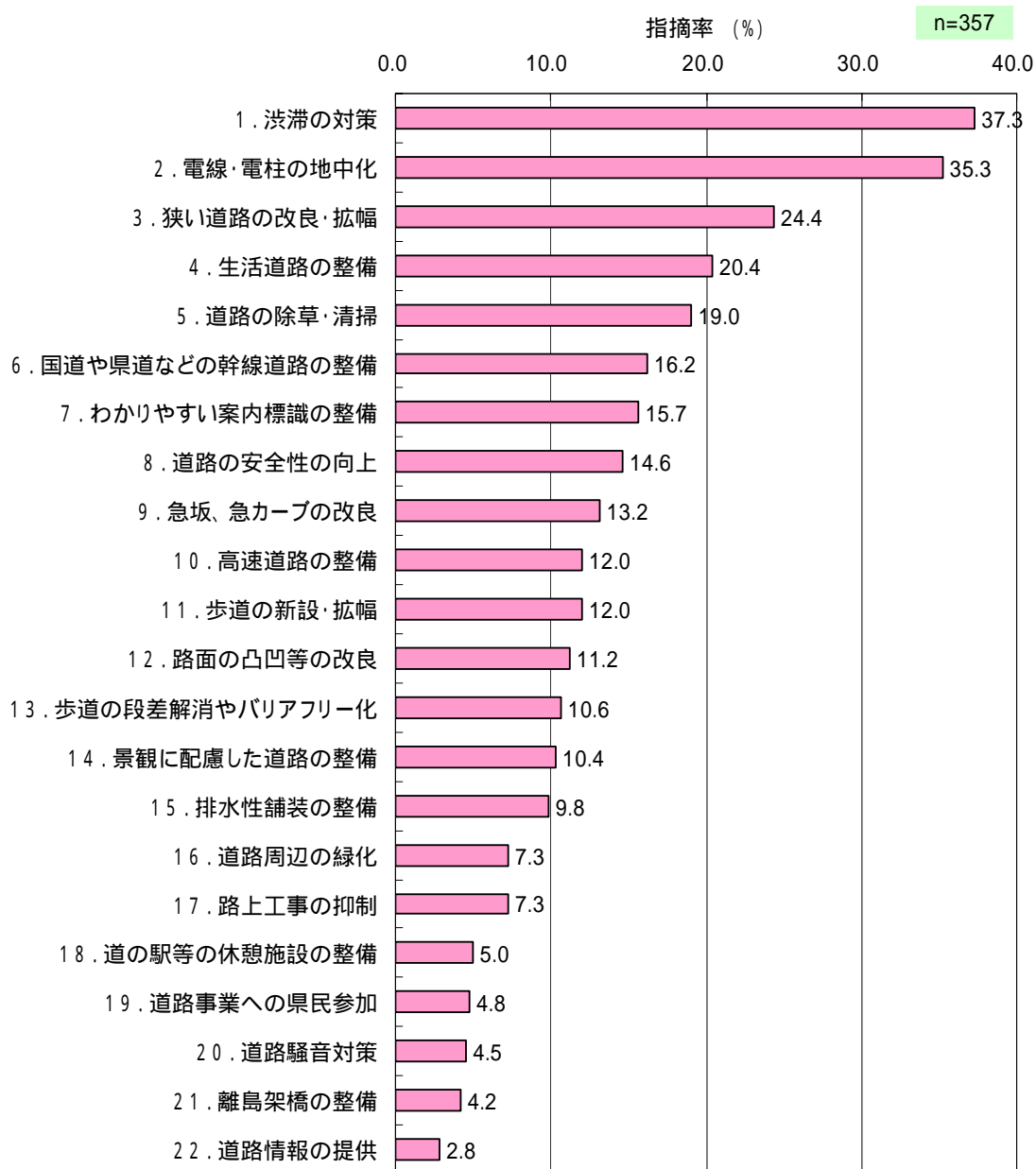
全県の傾向と同様の傾向を示しており、渋滞の対策、電線・電柱の地中化、狭い道路の改良・拡幅をあげる意見が多い。



問3 今後の道路事業(施策)の優先順位(中南部生活圏)

(4) 北部生活圏

渋滞の対策が最も多い(約37%)が、全県(約53%)と比較すると低い。

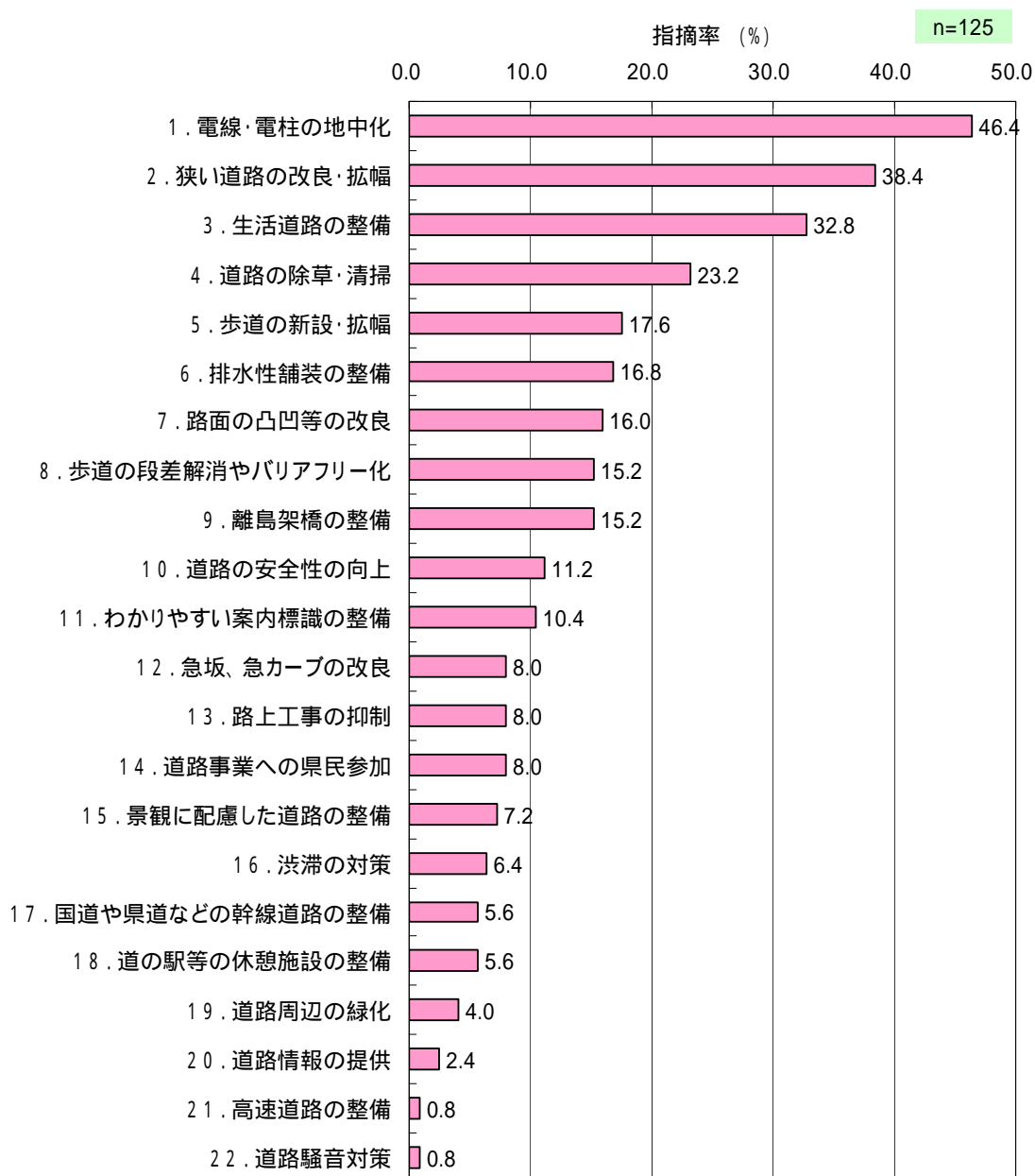


問3 今後の道路事業(施策)の優先順位(北部生活圏)

(5) 宮古生活圏

電線・電柱の地中化をあげる意見が約46%と最も多く、次いで、狭い道路の改良・拡幅、生活道路の整備となっている。

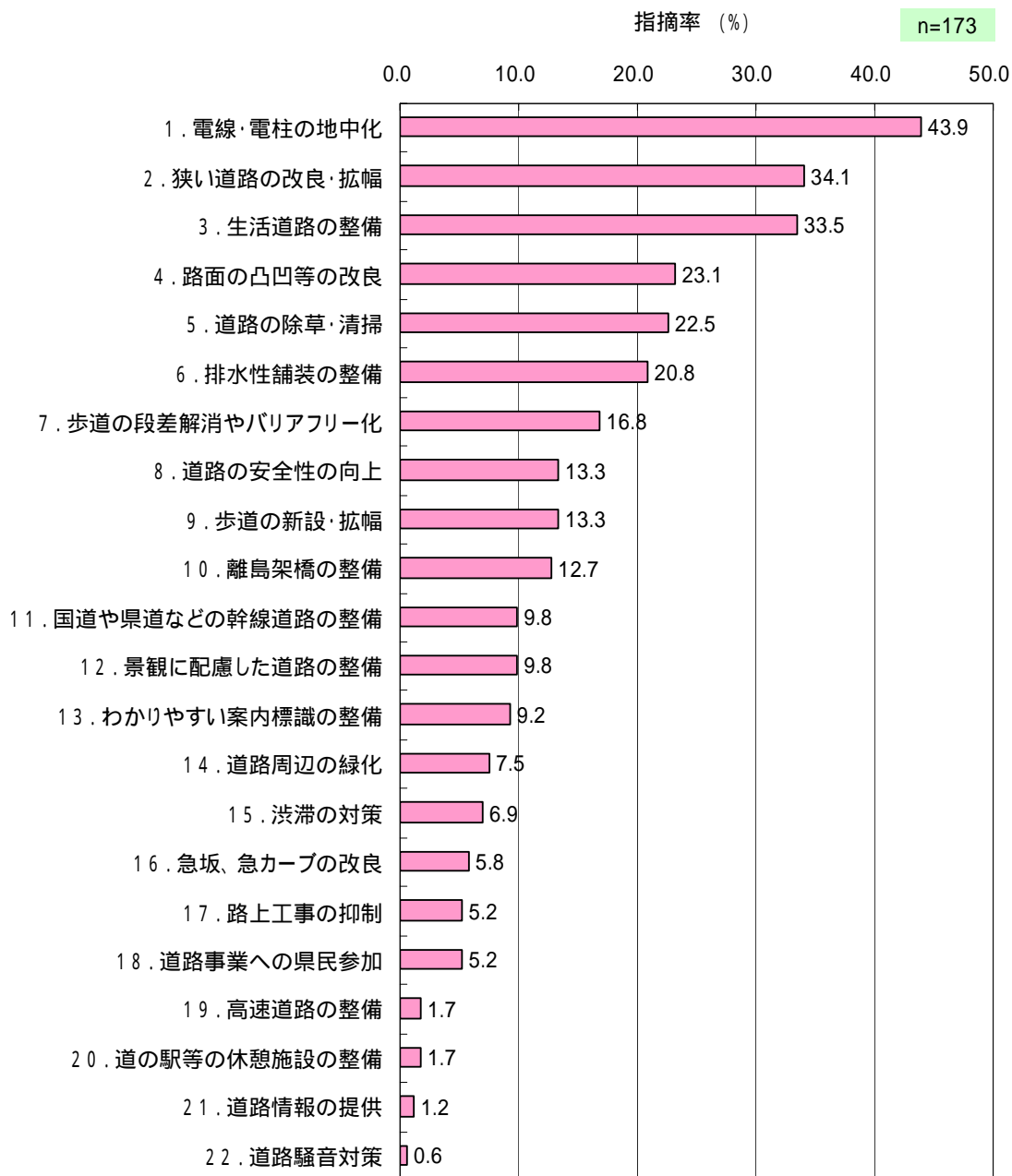
本島の傾向とやや異なる。



問3 今後の道路事業(施策)の優先順位(宮古生活圏)

(6) 八重山生活圈

宮古生活圈と同様、電線・電柱の地中化をあげる意見が最も多く、次いで、狭い道路の改良・拡幅、生活道路の整備となっている。



問3 今後の道路事業(施策)の優先順位(八重山生活圈)